



へき地対策連絡会が始動

5月28日、「宗谷管内へき地級地指定対策連絡会（略称：へき対宗谷連絡会）」の会議が行われ、管内のへき地を守る取り組みが6年ぶりに再開しました。宗谷教組はオブザーバーとして参加させていただくことになっており、本部から内藤が出席しました。

会議の冒頭には、教育長部会・小野寺教育長部会長（豊富町教育長）から「局から教育長への説明がされた際、各教育長から、稚内市に無級地の学校が存在することの問題、宗谷のへき地性が正しく反映されていない現状の問題等が指摘された。6年前にくらべれば人口減等、宗谷のへき地性はすすんでいる。良い方向になるよう、みなさんで力を合わせ検討していきたい。」と挨拶がありました（挨拶要旨はへき対連絡会だよりから抜粋）。

さっそく、へき対連絡会だよりが発行されています。校長会を通して各学校でも配布等されると思います。こうした管内の教育関係者の発信を身近で受け取ることも、運動の大切な部分です。校長先生と連携をすすめましょう。

最新の「へき地」にまつわる情勢①

宗谷教組として「級地算定シミュレーション」をしたり、各教育関係者が独自の分析を進めるなど、今回の「へき地級地指定の見直し」でどのような課題が起こるのかが少しずつ明らかになってきています。

① 稚内中央地区の無級地

稚内中央小・稚内中の無級地という状態は宗谷のへき地性を出しく反映しているものではありません。しかし、今回の算定をするだけではこの課題を解決することの難しさが残ります。

② ブロードバンド開通に伴う減点

6年間の変化の中で、ADSL・光回線によるインターネットの開通があります。「ブロードバンドが使えないと『加点5点』」というのが調整点数の要素にあります。宗谷沿岸の学校では、この加点がなくなることで、級地がダウンする学校が出ることも予想されます。

学習会の感想から ～今回は枝幸支部での学習会の様子から～

◆どう考えても宗谷と言うことだけでへき地だと思いません。組合としてもへき地級の取り組みを頑張っていることがわかりました。学校の仕事もいっぱいいっぱいの中頭が下がります。私も今回のシミュレーションをしました。一人分会で一人でやるのはとても大変でした。忙しい中ほんとうにお疲れ様です。

◆枝幸町の中で2級3級と級地が違うところがありますが、住んでいると一体何の違があるのか？と思ってしまいます。でも2級と3級では高校受験でも修学旅行の補助でも大きく変わってきます。とても大事なことなので丁寧に考えてほしいと思います。実際に住んでいる子供達の不利益になることのないように。

◆へき地の級地見直しが点数確認だけでなく

級地引き下げにつながっていくのが怖いなと思いました。道教委や人事委員会はもっと宗谷などのへき地の現状を理解して級地を決めてほしいと思いました。そのためには組合としてできることをがんばっていきたくと思います。

◆へき地級地は絶対に守らなければならない。学習会で学んだ事はみんなに伝え関係者で共同していくことが何よりも大切だと改めて考えさせられました。現場の実態を知らず目の判断で教育条件を悪化させることは許されないことです。

◆へき地問題に対して、教育関係者、地教委が協力して大きな取り組みにしていく大切さを実感しました。不都合なことはたくさんある。それが反映されるようにしていかなければ

◆大きな運動に何度か参加していますが、毎回思うことは、へき地をなくそうとする上の考え方や実情に合っていないと訴える教育関係者並びに地域の声…いつも思うのは大変な時期に来て少し滞らせてもらえないということ。この運動を大きく成功させていく必要があると思います。そのために学習会で学んだ事を進めていきたいと思っています。今日はありがとうございました。

◆6年前の取り組みの時は人にお任せで何もわかっていませんでしたが、今回は真剣に取り組めます。多くの資料やクイズを準備して下さりありがとうございました。大変お疲れ様でした。